

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	教養・基礎教育部門						
科目名	倫理哲学 Ethics and Philosophy						
科目区分	人間形成科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	安居 誠 Makoto YASUI						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的方法の基礎を習得する。 ・学問や知的探求全般を規定しているエートスを自覚する。 ・「すじみち」という点で、論理と倫理が親和性を持つことに気づく。 ・近代以降の倫理思想の特徴を構造的に理解する。 						
日程と内容	4/12 導入講義：哲学とは何か 4/19 4つの哲学素 4/23 デカルトの夢と二進法 4/26 「ならば」の周辺 5/10 「または」の意味 5/17 論理演算と悪魔のパズル 5/24 真理条件と意味論 5/31 帰納法の謎 6/7 エメラルドは何色か 6/14 「正しさ」について 6/21 ソクラテスの問い 6/28 黄金律と定言命法 7/5 普遍法則としての道徳 7/12 倫理と政治性 7/19 まとめと演習 7/26 定期試験						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験	10%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	ほぼ、達成できたように思います。						
反省点	合格率も高く、答案を見る限り各自の到達度に不満はないのですが、科目の勉強の仕方に戸惑っているようにも見受けられました。振り返ってみると、授業で具体的な勉強法について触れたことがない点が反省されます。						
来年度の計画	上記の点を踏まえて、予習・復習に関しては、新しい試みとして、質の高いサイトにヒットする専門用語を選んで主題ごとに検索ワードを紹介したいと思います。文庫や新書など手に取りやすいものを主とする参考書や映像作品の紹介はすでに行っていますが、これも拡充するつもりです。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述欄に、「即興で板書されて説明が分かりにくい」と書かれていました。最初の時間に《世界を出来合いのものとして受け取らないこと》として哲学を定義している以上、この種の講義に「知的なインプロヴィゼーション」は不可欠だと思います。一方で、受講している学生の立場として「完成された知識」のようなものを期待されるのも分かります。簡単な答えは見つかりませんが、今後の検討課題とさせていただきます。						
履修登録者数	48名	定期試験 受験者数	42名	合格者数	39名	合格率	93%